



2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月14日

上場会社名 株式会社E n j i n 上場取引所 東
 コード番号 7370 URL <https://www.y-enjin.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長グループ（氏名） 本田 幸大
 問合せ先責任者（役職名） コーポレート本部長（氏名） 斎藤 里佳 (TEL) 03-4590-0808
 半期報告書提出予定日 2026年1月14日 配当支払開始予定日 2026年1月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年6月1日～2025年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年5月期中間期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	1,125	△19.7	169	△58.1	194	△52.4	101	△54.7

(注) 包括利益 2026年5月期中間期 111百万円(△50.0%) 2025年5月期中間期 223百万円(△39.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年5月期中間期	円 錢 14.36	円 錢 14.35
2025年5月期中間期	31.87	31.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年5月期中間期	百万円 5,150	百万円 4,585	% 88.9
2025年5月期	5,302	4,643	87.4

(参考) 自己資本 2026年5月期中間期 4,577百万円 2025年5月期 4,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 錢 —	円 錢 13.00	円 錢 —	円 錢 25.00	円 錢 38.00
2026年5月期	—	20.00	—	—	—
2026年5月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 2,300	% △21.2	百万円 400	% △52.4	百万円 425	% △49.6	百万円 278	% △48.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年5月期中間期	7,298,200株	2025年5月期	7,280,200株
2026年5月期中間期	237,282株	2025年5月期	237,267株
2026年5月期中間期	7,060,525株	2025年5月期中間期	7,013,599株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、設備投資や雇用環境の改善を背景に内需が底堅く推移し、緩やかな回復基調を維持しました。一方、世界経済の減速による需要の縮小や物価上昇の影響から、企業収益の改善ペースが鈍化しており、先行きには依然として不透明な状況となっております。

このような環境下において、当社グループは「社会の役に立つ立派な人間を一人でも多く輩出する」ことをパスに、「あらゆる価値を可視化する」ことをミッションとして掲げ、PRを通じて魅力ある企業、団体等を世の中に伝え、社会全体の幸福度を高めていけるようなサービスを展開してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は1,125,906千円（前年同期比19.7%減）、営業利益は169,619千円（前年同期比58.1%減）、経常利益は194,752千円（前年同期比52.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は101,361千円（前年同期比54.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①PRコンサルティングサービス

PRコンサルティングサービスにおきましては、売上高は1,016,581千円（前年同期比17.9%減）、セグメント利益は195,973千円（前年同期比45.7%減）となりました。

②メディアプラットフォームサービス

メディアプラットフォームサービスにおきましては、売上高は109,325千円（前年同期比33.7%減）、セグメント損失は26,353千円（前年同期比160.4%減）となりました。

なお、新卒社員の戦力化やAIを活用した営業効率化により成約高については当第2四半期にかけて回復基調にありますが、人員の減少における売上高の減少分の回収には至っておりません。PRコンサルティング事業においては、売上計上時期が来期にずれ込むことにより、前回予想比△599百万円（前回予想比△26.0%）となる見込みです。また、PRプラットフォーム事業においては、メディショクのサービス改善期間に入り、新規営業活動の縮小による影響もあり、前回予想比△223百万円（前回予想比△55.6%）となる見通しとなっております。その結果、2026年5月期通期の業績については、売上高および利益ともに前回予想を下回ることが見込まれるため、下方修正を行うことといたしました。詳細につきましては、本日（2026年1月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は5,150,148千円であります。前連結会計年度末と比較いたしますと、152,687千円減少しております。これは主に、消費税の納付をしたこと及び配当金の支払い等により現金及び預金が1,203,818千円減少したこと及び投資有価証券の取得等により投資有価証券が1,190,584千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は564,302千円であります。前連結会計年度末と比較いたしますと、94,985千円減少しております。これは主に、売上高減少等に伴い法人税が減少したこと及び賞与引当金が減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は4,585,845千円であります。前連結会計年度末と比較いたしますと、57,702千円減少しております。これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が74,711千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は2,924,132千円となり、前連結会計年度末と比較し、1,203,818千円減少しました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、117,100千円の収入となりました。これは主に税金等調整前中間純利益151,422千円、未収入金の減少による資金の増加37,252千円、法人税等の支払額84,388千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、1,146,382千円の支出となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出1,165,427千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、174,536千円の支出となりました。これは主に配当金の支払額175,911千円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年7月14日付「2025年5月期決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年1月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後、様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,127,950	2,924,132
売掛金	61,082	52,338
棚卸資産	12,419	7,951
未収入金	239,314	212,937
前払費用	82,872	88,527
その他	3,498	10,681
貸倒引当金	△20,867	△30,441
流動資産合計	4,506,270	3,266,126
固定資産		
有形固定資産	168,423	112,805
無形固定資産		
顧客関連資産	34,285	30,857
のれん	53,107	49,788
その他	30,312	23,928
無形固定資産合計	117,705	104,573
投資その他の資産		
投資有価証券	73,177	1,263,761
繰延税金資産	55,748	57,380
長期貸付金	238,810	227,160
破産更生債権等	22,883	22,823
その他	142,700	118,370
貸倒引当金	△22,883	△22,853
投資その他の資産合計	510,436	1,666,642
固定資産合計	796,564	1,884,021
資産合計	5,302,835	5,150,148
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,513	13,895
未払金	23,435	21,006
未払費用	74,617	56,377
未払法人税等	99,014	69,060
前受金	335,501	358,181
賞与引当金	40,077	15,878
ポイント引当金	-	12
その他	25,388	23,976
流動負債合計	634,548	558,388
固定負債		
繰延税金負債	5,529	5,386
その他	19,210	528
固定負債合計	24,739	5,914
負債合計	659,287	564,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	905, 162	905, 856
資本剰余金	875, 162	881, 121
利益剰余金	3, 114, 176	3, 039, 465
自己株式	△259, 254	△259, 267
株主資本合計	4, 635, 246	4, 567, 175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	415	10, 785
その他の包括利益累計額合計	415	10, 785
新株予約権	7, 884	7, 884
純資産合計	4, 643, 547	4, 585, 845
負債純資産合計	5, 302, 835	5, 150, 148

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
売上高	1,402,912	1,125,906
売上原価	248,420	203,620
売上総利益	1,154,491	922,286
販売費及び一般管理費	749,956	752,666
営業利益	404,534	169,619
営業外収益		
受取利息	1,130	6,620
受取配当金	10	—
為替差益	3	12,562
有価証券利息	—	9,437
匿名組合投資利益	9,542	—
補助金収入	3,915	—
その他	413	369
営業外収益合計	15,015	28,989
営業外費用		
投資事業組合運用損	3,197	2,679
固定資産除却損	5,064	797
その他	2,454	379
営業外費用合計	10,716	3,856
経常利益	408,833	194,752
特別利益		
会員権売却益	—	578
特別利益合計	—	578
特別損失		
減損損失	25,499	43,907
特別損失合計	25,499	43,907
税金等調整前中間純利益	383,333	151,422
法人税、住民税及び事業税	175,660	56,617
法人税等調整額	△15,880	△6,556
法人税等合計	159,779	50,061
中間純利益	223,553	101,361
親会社株主に帰属する中間純利益	223,553	101,361

中間連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
中間純利益	223,553	101,361
その他の包括利益	—	—
その他有価証券評価差額金	—	10,369
その他の包括利益合計	—	10,369
中間包括利益	223,553	111,731
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	223,553	111,731

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	383, 333	151, 422
減価償却費	41, 081	30, 348
減損損失	25, 499	43, 907
のれん償却額	3, 319	3, 319
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2, 648	9, 544
賞与引当金の増減額（△は減少）	△15, 384	△24, 198
受取利息及び受取配当金	△1, 140	△16, 057
為替差損益（△は益）	3	△12, 798
固定資産除却損	5, 064	797
売掛金の増減額（△は増加）	32, 559	8, 744
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4, 335	4, 468
未収消費税等の増減額（△は増加）	18, 774	△8, 612
未収入金の増減額（△は増加）	13, 563	37, 252
前払費用の増減額（△は増加）	△12, 910	△5, 671
買掛金の増減額（△は減少）	3, 644	△22, 617
未払金の増減額（△は減少）	11, 663	△2, 429
未払費用の増減額（△は減少）	△37, 621	△16, 705
未払消費税等の増減額（△は減少）	21, 099	2, 280
前受金の増減額（△は減少）	61, 864	3, 998
その他	△10, 300	2, 562
小計	542, 425	189, 554
利息及び配当金の受取額	1, 140	11, 934
補助金の受取額	3, 915	–
和解金の支払額	△2, 300	–
法人税等の支払額	△122, 810	△84, 388
営業活動によるキャッシュ・フロー	422, 371	117, 100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24, 906	△1, 015
無形固定資産の取得による支出	△4, 950	–
投資有価証券の取得による支出	–	△1, 165, 427
貸付けによる支出	△102, 310	△19, 850
貸付金の回収による収入	–	31, 500
リゾート会員権の売却による収入	–	8, 295
その他	△24, 363	115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156, 530	△1, 146, 382

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の発行による収入	1,024	1,388
配当金の支払額	△157,125	△175,911
その他	-	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,100	△174,536
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	109,740	△1,203,818
現金及び現金同等物の期首残高	3,538,011	4,127,950
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,647,751	2,924,132

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書計 上額（注）
	PRコンサルテ ィングサービ ス	メディアプラ ットフォーム サービス	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,238,091	164,821	1,402,912	-	1,402,912
外部顧客への売上高	1,238,091	164,821	1,402,912	-	1,402,912
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	1,238,091	164,821	1,402,912	-	1,402,912
セグメント利益	360,903	43,631	404,534	-	404,534

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失は25,499千円
であり、その内訳は、建物24,628千円、その他871千円であります。

当中間連結会計期間(自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書計 上額（注）
	PRコンサルテ イングサービ ス	メディアプラ ットフォーム サービス	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,016,581	109,325	1,125,906	-	1,125,906
外部顧客への売上高	1,016,581	109,325	1,125,906	-	1,125,906
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	1,016,581	109,325	1,125,906	-	1,125,906
セグメント利益	195,973	△26,353	169,619	-	169,619

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失は43,907千円であり、その内訳は、建物38,904千円、その他5,003千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当中間連結会計期間より、セグメント業績をより適切に開示するため全社事業部門外費用を受益者負担の観点から見直し、経費の配賦方法を変更しており、報告セグメントの利益の算定方法を変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2026年1月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実及び資本効率の向上を図るため、自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 400,000株（上限）
(発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.6%)
- (3) 株式の取得価額の総額 300,000千円（上限）
- (4) 取得期間 2026年1月14日～2026年7月31日
- (5) 取得方法 東京証券取引所における市場買付